

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	2733412
施設名（園名等）	かしわ幼稚園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な植物

<テーマの設定理由>

- ・身近な植物を観察し、触ったり、においをかいだり、五感を使って感じる
- ・興味・関心が持てるように環境を用意する
- ・少人数にして気づいたり、試したりする時間をたっぷりとする
- ・一人ひとりの気づきを大切に、それを他の子に伝わるように工夫し、探究活動へと発展できるようにする

### 2. 活動スケジュール

- 4月：朝顔の種をまく
- 5月：身近な花をしぼって色水を作ろう
- 6月：花の色水、氷を使ってジュースを作ってみよう
- 7月：朝顔の成長を観察し、花を冷凍する
- 9月：育てた朝顔を観察しながら絵を描き、花の汁で色をぬる
- 10月：どんぐり、まつぼっくりを拾い疑問を持って調べ、遊びに取り入れる
- 11月：葉の変化に気づき、絵の具を使って色を作ったり、形や感触を楽しむ
- 12月：朝顔のつるを使ってリースを作ろう
- 1月：園庭に落ちているむくろじでどんな遊びができるかな
- 2月：葉の形や葉脈に気づき観察し、実験してみる
- 3月：じゃがいもの種芋を植える

### 3. 探究活動の実践

<4月>「朝顔の種をまく」

朝顔の種、土、鉢、支柱、シャベル、ジョーロ

- ・「これは？」「何の種？」「いくつ入れるの？」
- ・鉢に土を入れる。「どのくらい？」「どのくらいの深さ？」「水をあげるのはだれ・いつ？」
- ・お部屋の前に置いて毎日芽が出ているか、登園するとみている。
- ・双葉が出た時「ハートみたい」
- ・いつ芽が出るか楽しみにしている様子。

#### 【振り返り】

- ・何の種を植えたいか事前に子どもたちに聞いてから買うことができて良かった。
- ・実際に土を触って種をまく体験ができて良かった。
- ・これからの成長をみんなで見守っていきたい。
- ・種をまいた後みんなで鉢を囲んでみていることが印象的だった。



<5月>「身近な花をしばって色水を作ろう」

6名のグループに分け、3回おこなう

園庭に机、いす、を出し、きれいな色の花(あさがお、レンゲ、たんぽぽ、バラ、ハイビスカス、アザミ、あじさい、キバナコスモス、ムラサキツマクサ、パンジーなど園庭や近くに生えていた花)を並べる。

道具(ボール、茶こし、カップ、ボトル、ペットボトル、スポイト、ジョーゴ、すりこぎ、泡だて器、虫眼鏡、おたま、ザルなど)を並べる。

- ・様々な道具と花を使って「自由につぶしたり、たたいたり、混ぜたり何度も試す。
- ・すりこぎやスポイト、ジョーゴなど試しながら保育者や他の子のやり方を見ながら色水作りをしていた。
- ・すりこぎ、スポイト、ジョーゴ使い方が分からない子が多かったので説明をすこぼしながらも何回も試していた。
- ・作った色水をペットボトルに入れるにはどうすればいいかと色々な道具で試していた。
- ・「どうやってやるの?」「何の花?」「こんな色になっちゃた」「まぜてみようかな」「ジュースみたい」「色が出ないな」
- ・「花の汁を凍らせてみたらどうだろう」「友だちのとまぜてみる?」「〇〇ちゃんのきれいな色だね」「どうやってやったの?」と保育者が声をかける。

#### 【振り返り】

- ・保育後、全職で撮った動画を見ながら振り返りをした。
- ・もっとやりたがっていた子が多かったのももう少し時間を用意すればよかった。
- ・スポイト、ジョーゴ、すりこぎに人気が集まっていた。使い方を知って何度も試す姿が印象的だった。
- ・花の汁を凍らせてみたらどうだろう→次回の活動につなげよう



<6月>「花の色水、氷を使ってジュースを作ってみよう」

9人のグループで2回行う

道具・・・スポイト、ジョーゴ、カップ、ストロー、計量カップ、ペットボトル、スプーン、筆、パレット、  
カラーセロファン

材料・・・絵の具(赤、青、黄、白、緑)、前回の花の色水で作った氷、前回の色水

- ・カラーセロファンを重ねるとどんな色ができるのか試せるようにカードを作って置いておいた。
- ・1人1つずつパレット、カップを用意して自由に絵の具を混ぜられるようにした。
- ・前回の花の汁で作った氷を見て「きれい」と感動し、さわってみたり、ジュースに入れてみたりする。
- ・水をどのくらい入れたらいいか試す。
- ・溢れないように気を付ける。
- ・こぼさないように各自お部屋まで運び並べる。  
お迎えの時に保護者に見てもらいながらこの日の活動を説明する。
- ・「次、貸して」「いい色だね」「私も作ってみよう」「水が多すぎた」  
「作った色水に氷を入れたら水の色が変わった・かわらなかった」  
・「またやりたい！」

<振り返り>

- ・前回よりもスポイトの使い方が上手になっていた。
- ・友だちに貸したり、待ったり、「貸して」と言えたり、関わりが多く見られた。
- ・前回よりも自分でどんどん試していた。
- ・牛乳(白)にバナナ(黄)をまぜてバナナジュースを作った子がいた。
- ・前回の花の色水で作った氷がきれいで感動していた。
- ・友だちの作ったジュースと混ぜたりして、もっとかかわりを府やしても良かったのではないか。
- ・何回も試すことができ満足できた様子。



<7月>「朝顔の成長を観察し、花を冷凍する」

- ・ジョーロを近くに用意していたので順番に水をあげてくれていた。
- ・毎日、いろんな色が咲き次から次へとたくさん咲いた。
- ・お花と冷凍させてみる どうなるか→色がそのまま残っていた。
- ・朝顔を虫めがねでみてみよう
- ・「何色が咲くかな?」「何色が咲くんだろう?」「今日はたくさん咲いているね」  
「今日は何個咲いているかな?」

<振り返り>

- ・咲いた朝顔を冷凍しておいた→色がきれいに保たれた
- ・夏休み明けまで咲いていたので長いこと楽しむことができた。
- ・残念なことにたくさん咲いたのに種ができなくて種の収穫を体験することができなかった。
- ・登園すると「今日は咲いているかな」と楽しみにしている子がいた。



<9月>「育てた朝顔を観察しながら絵を描き、花の汁で色をぬる」

道具：虫めがね、冷凍してあった朝顔の花、画用紙、クレヨン

- ・机の上に朝顔の鉢を置き虫めがねも使って観察しながら絵を描き朝顔の花の汁で色をつけた。
- ・「花や葉を触ってみよう」「形や色はどんなかな」
- ・「ふわふわしている」「ざらざらしている」
- ・「ピンクより紫の方が色が出る」

<振り返り>

- ・冷凍した花が使えてよかった
- ・花を潰すのに躊躇している子がいた
- ・花を見ながら描くという体験は初めての子が多く、難しかったようである。



<10月>「どんぐり、まつぼっくりを拾い疑問を持って調べ、遊びに取り入れる」

道具：ヤクルトの容器

- ・園外保育でどんぐり拾い(容器に拾ったどんぐりを入れる)
- ・どんな形、どんな色、どこから落ちてきたのか
- ・「まるい」「帽子が付いている」「違う形」「音がする」
- ・どんぐりが落ちていた上の木を見る
- ・園に戻ってきてからマラカス遊び
- ・お皿に出してどんぐりの観察
- ・友だちとどんぐり交換
- ・本で調べる(何の木)

<振り返り>

- ・園外保育でどんぐりを見つけて大喜びだった。
- ・事前に容器を用意していたので拾いやすかった。
- ・色々な形のどんぐりを見つけて、どこから落ちてきたのか見ることができた。
- ・どんぐりには興味を持ったが、木を見るよう声掛けをしたが興味を示さなかった。



< 11月>「葉の変化に気づき、絵の具を使って色を作ったり、形や感触を楽しむ」

準備：透明テープを貼った額、テレビ、顕微鏡

- ・画用紙で作った額に透明テープを貼っておく。
- ・園庭ではっぱを見つけ好きなようにはる
- ・どんな形、色、何の葉っぱ？
- ・「どんぐりも貼ってみる」「もみじの葉は面白い形」
- ・できたスタンドグラスをお部屋の窓にかざる
- ・「光が当たるときれいな色に見える」
- ・顕微鏡、テレビを使ってみんなで葉を見る
- ・「穴が開いている」「虫が食べたのかな」「うちかな」「気持ち悪い」
- ・「まっすぐな線が見える」（顕微鏡）

<振り返り>

- ・透明テープを使っの額はよかった。それぞれ自分の見つけたはっぱをすぐに貼ることができ、葉の形や色をよく見ることができた。
- ・出来上がったからも透明テープを貼ればとれたりせず持ち帰ることができたかもしれない。



<12月>「朝顔のつるを使ってリースを作ろう」

準備：朝顔のつる、ビーズ、リボン、ボンド、毛糸、ひも

- ・育てた朝顔の枯れたつるを使ってクリスマスツリーを作る。
- ・自由に飾り付けをする。

<振り返り>

- ・育てた朝顔が枯れてしまったけどそれを使ってクリスマス飾りが作れてワクワクしていた。



<1月>「園庭に落ちているむくろじでどんな遊びができるかな」

準備：①紙粘土、むくろじ、クリップ、毛糸

②カプセル、シール、むくろじ

③画用紙、両面テープ、むくろじ

④スズラン、むくろじ、おたま、たらい

⑤むくろじのついたはね、はごいた

5つのコーナー

① メダル

② マラカス

③ 顔

④ 金魚すくい

⑤ はねつき

自由にコーナーをまわり工作、遊びを楽しむ

- ・何日も前からむくろじの実を集めていた。皮をむいて準備をしていた。
- ・それぞれ好きなコーナーで遊び、その中で工夫している子が見られた。
- ・スズランと両面テープを使ってむくろじの実をきれいに並べプレスレットを作る子がいた
- ・はねつきではむくろじが当たる音を聞きながら、難しかったが挑戦する子がいた。
- ・むくろじの実でいろいろな使い方、楽しみ方があることに気づき大事に持ち帰る子もいた。
- ・「くさい」「ベタベタする」「みがいたら光る」「白色もあるね」
- ・いっぱい入れると音が違うね

<振り返り>

- ・コーナーがたくさんあって人数もちょうど良くばらけて遊ぶことができた。
- ・身近に落ちているムクロジを使っていろんな遊びができる体験ができた。
- ・ほかの学年にも体験させてあげたかった。



<2月>「葉の形や葉脈に気づき観察し、実験してみる」

準備 ・園庭にある草木からいろいろな種類の葉を集める

- ・何がでるかわからないよう葉を入れる箱を作る
- ・机に新聞紙を貼っておく
- ・緑、黄の絵の具を用意する
- ・染め紙（いろいろな大きさ）を切っておく

・はじめはすべり台や遊具の中をのぞいている子がいた

・見つけた子は嬉しそうに見せに来た

・見つけられない子は同じ葉をもっている友だちと一緒に取りに行っていた

・「みんなはどんな葉を探したの？」の問い

「手の形みたい」「ちくちくした葉」「ぎざぎざ」「普通の葉」「バナナみたいな」「お花みたいな」「ふわふわした葉」といろいろな言葉がでた。

<振り返り>

・絵具の量が難しかった。少し水でとくとよかった。

・風が強くて大変だった。

・スタンプ台を使うとよかったかも



<3月>「じゃがいもの種芋を植える」

準備：畑を耕しておく 肥料

種芋 男爵 4 kg

北あかり 6 kg

- ・耕してくれたふかふかの土に等間隔に印がついているところに種芋を置く。適量の土をやさしくかける。
- ・年長組が植えている様子を年中組さんが見ている。来年度の年長がジャガイモの成長観察をし、収穫、料理へと継続した体験ができるようにする。
- ・6月に行うジャガイモ堀のもととなる作業を知ってほしい。

<振り返り>

- ・毎年行っていた作業だが次年度年長のばら組が作業を見るようにした。
- ・土の感触、においを感じてもらえたと思う。
- ・収穫を楽しみにする気持ちが持てるよう声掛けをした。

